

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 学校法人 森教育学園 岡山学芸館高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ）

所在地 〒704-8502  
岡山県岡山市東区西大寺上 1 丁目 19-19

E-mail info@gakugeikan.ed.jp

Website http://www.gakugeikan.ed.jp

児童生徒数 男子 691 名 女子 531 名 合計 1222 名  
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☒ そのほか（ 国際貢献活動 ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 1. 京都模擬国連に参加

毎年6月に京都外国語大学附属高校が実施している模擬国連大会に英語科の3年生が参加し、今回は「子供の貧困」をテーマに議論を行った。

#### 2. 東北大震災学生ボランティアスタディツアー参加

平成27年8月に本校生徒14名が、石巻市を訪問し、震災の現状について学んだ。その後、地元の西大寺ふれあいセンター祭りにおいて、福島の高校生が商品開発したラムネやかきんとうを販売し、また文化祭では、東北の現状を伝える写真展を開催し、現地から取り寄せた資料等を来校した一般客や在校生に配布して支援を呼びかけた。

#### 3. タイ・カンボジア研修

本校では、タイ・カンボジア研修を平成19年度より実施している。本年度も42名の生徒が参加し、タイでは、行き直し学校で、過酷な状況下で生きる子どもたちとふれあう中で、自分たちにできることは何かということや、自らのこれまでの生き方を見つめ直す契機となった。カンボジアでは、シェムリアップにある大正小学校で交流し、日本語教室で学ぶ子どもたちに日本語を教えるというボランティアを行った。

#### 4. カンボジアプロジェクト

本校では平成19年度よりタイ・カンボジア研修に参加している。平成26年の12月にこの研修に参加した生徒が、研修後に自分たちが日本でできることを考え、45万円（パスポート代と渡航費）を集めて、カンボジアの日本語教室から3人の中学生を呼ぶプロジェクトを企画実施した。方法としては、地元の祭りで「カンボジアカレー（タイカレーをベースにカンボジアが語源とされるカボチャを入れたカレーを創作）を販売し、同時に現地の子どもたちが選んだカンボジア雑貨を販売し、同時に募金も行った。10月18日から3週間、カンボジアから3名の中学生が岡山学芸館高校を訪れた。3週間の間に、本校に併設している、学芸館高校清秀高等部中学校に身を置き、日本の中学校の授業を体験してもらった。また、外国語学院の日本語を学ぶ留学生と交流するなど、岡山大学の環境理工学部の生徒と「人間が生活する上でどれくらいのエネルギーが必要か」について話し合う機会も得た。この活動は、カンボジアの子どもたちにとって貴重な体験になったと共に、高校生や大学生にとっても貴重な体験となり、双方向に効果のあったプロジェクトとなった。

## 5. 西大寺小学校出前授業

ユネスコ部に所属する生徒中心に全校に呼びかけて希望者を募り、年に3回行った。1回目は6月に行い、2回目は10月に行った。特に10月にはカンボジアプロジェクトでやってきた中学生と一緒に出前授業を行った。その出前授業をきっかけに、小学生が思い思いの支援物資を作成し、その物資を平成27年度のタイ・カンボジア研修に参加した生徒が現地カンボジアの大正小学校の子どもたちに渡した。今回は、その際、10月に出前授業に参加した3人の中学生もその日本語教室でその物資を受け取り、喜んでもらった。帰国後、2月には、3人の子どもたちからのメッセージビデオや、現地の子どもたちに支援物資を渡したときの様子、またカンボジアの現状について小学生に報告会を実施して伝えた。

## 6. 岡山ユネスコスクールネットワーク実践交流会参加

平成27年11月に実施された第1回目となる今回の交流会には、ユネスコ部の10名とカンボジアから来た中学生3名とで参加し、実践活動をプレゼンテーションで報告するだけでなく、岡山県内のユネスコスクールで活動している高校生たちと交流を行った。

## 7. フェアトレード講習会

イオングループの有本氏を講師に招き、ユネスコ部と希望者を対象にしたフェアトレードについての講義と受け、その後フェアトレードチョコレートを使ったチョコバナナを食べながら交流を行った。この活動を通して、フェアトレードを含めた環境に配慮した食品について学び、先進国の中でそのような商品に対する関心の非常に低い日本人の意識を変えるためのプランを考えている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- ☐ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- ☒ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他( )